
**アーバンスノー
スポーツツーリズム
研究会**

実証事業報告

2022.3.4

課題とねらい

課題

- ① 来札するインバウンドは冬季に増えるが、滞在日数が短い
- ② スキー・スノーボード以外に雪山で楽しめるコンテンツが不足
- ③ 市民のスノースポーツ人口（実施率）が減少

到達点

- ・ スノースポーツ以外に雪山で楽しめるコンテンツを充実・定着させることにより「アーバンスノースポーツのまちSAPPORO」としてのブランドを確立
- ・ それを目的としたインバウンド・国内観光客数や宿泊日数の増加
- ・ 市民のスポーツ実施率向上。

ターゲット

「小さな子供がいるアジア圏のファミリー層」

<海外>

- ・ 中国・台湾を中心とした東アジア圏で1.5歳～小学校低学年ぐらいまでの子供のいるファミリー層（主には20～40代夫婦＋子供＋祖父母）

<日本国内>

- ・ 海外層と同様、1.5歳～小学校低学年ぐらいまでの子供のいるファミリー層（主には20～40代夫婦＋子供＋祖父母）

札幌市が世界に誇る地域資源

- ①人口200万人の大都市でありながら年間5mの積雪
- ②都心に近い6 スキー場や、観光施設
- ③2030年を見据えたオリンピックシティ

これらを活用して「アーバンスノースポーツツーリズム」という
今までにない新たな分野のグローバルコンテンツを造成



- ・ポストコロナを見据えた国内外からの誘客（アウター施策）
- ・地域内の交流人口拡大・健康増進・共生社会の実現等
- ・総合的な地域活性化（インナー施策）双方の実現を。

Urban snow sports

人口200万人の大都市で年間5mの積雪を誇る札幌。
都心（大都市）から30分でスノースポーツが楽しめる環境は世界唯一無二。
その環境を生かし「手軽に、誰もが楽しめる」都市型スノースポーツを集め
「Urban snow sports」という定義でコンテンツ造成し観光誘因に生かす。

Urban snow sportsという定義（名称）のPR
「アーバンスノースポーツのまち札幌」

Urban snow sports field



Urban snow sports contents



STRIDER



RICE BOBSLED



SNOW SLACKLINE



MINI SKI



EASY SNOW BOARD

- アーバンスノースポーツのまち札幌としてのフィールド連携（スノーストライダーが体験可能な場所として紹介）
- 全アーバンスノースポーツコンテンツを体験できる実証実験フィールド
- 実証実験大会フィールド

注目コンテンツ

STRIDER

キッズ向けペダル無し自転車

世界で300万台販売されているアメリカ発祥のランニングバイク（ペダル無し二輪車）は、幼児向けサイクルスポーツ（対象年齢1歳半～5歳）として近年、日本をはじめ中国・台湾などアジア各国で人気のコンテンツとなり、2016年以降中国での大会開催が急増。特に、ランニングバイクの中でも圧倒的なシェアを誇る「ストライダー社」が主催するエンターテインメント的な大会である「ストライダーカップ」「ストライダーエンジョイカップ」は、ほとんどの子供たちが生まれて初めて参加するスポーツ大会として観光との親和性も高く、近年は世界大会やアジア大会も開催されるなど国内外で非常に人気が高く（2019年に中国では8つの大会が開催。日本国内では販売台数80万台以上、競技人口は2万人以上）、日本ではコロナ前の2019年はストライダーエンジョイカップが24レース（総エントリー数9,663名）、冬季は3大会の開催実績がある。



POINT

費用対効果の高いスポーツ

冬季スポーツ競技は日本国内では観戦者数が少なく、帯同者人数も少なく興行としては成り立たない。（2020年FISアルペンスキーワールドカップ来場者数2,668人で経費3億）※ワールドカップ開催地域としてのブランディング費用と捉えている。

今回の目標は大会経費約300万円で選手（子供）参加200名、帯同者&観戦者を合わせると1,000名程度で想定している。

「ストライダー冬季アジアカップ」を行うことにより参加者、帯同者合わせて1,000人規模の中国人訪日観光客の誘致を実現できる可能性があると考えている。※大会経費約1,000万で2億円の経済効果（中国人観光客の消費額から換算）

公告・宣伝

スキー場内での集客・誘導

この建物の一階入口前で

対象年齢
1歳以上

小さなお子様から
体験可能な **全て無料** の
冬遊びイベントを開催して
います！

米そり体験

スノー
ランニングバイク

スノースケート
かんたん
スノーボード

その他
雪遊びグッズ

オリジナル米そり
制作も可能（無料）！

ストライダー
無料レンタル

人気アイテム各種！

ミニスキー
スラックライン
などなど



公告・宣伝

特設WEBサイト

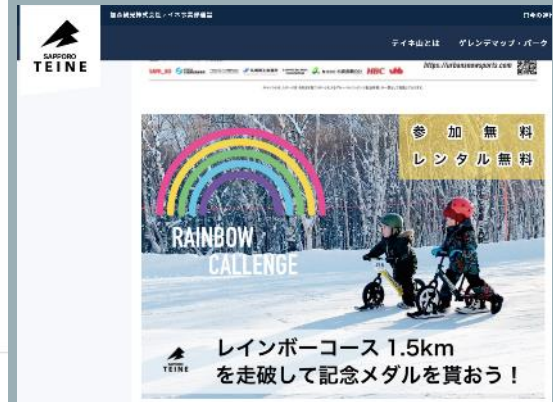
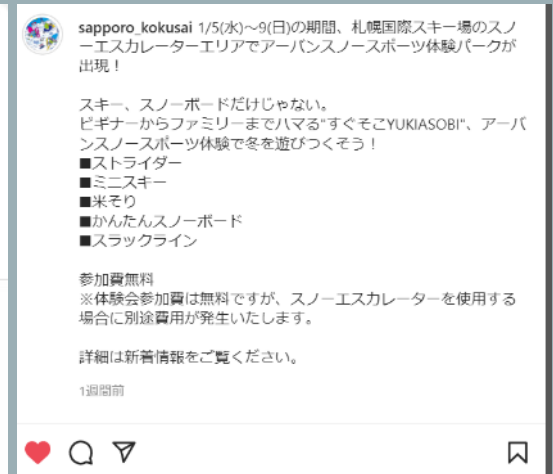
専用の案内サイトを構築

<https://urbansnowsports.com/index.html>



実証会場や協力機関との連携（SNS・HPなど）

実証実験会場となったスキー場等のSNSやHP等での情報発信、
ストライダー、ムラサキスポーツ等でのLINEやメルマガ配信



公告・宣伝

メディア

道内テレビ番組内でPR



- ①1月13日（木）「いま、なにしてる？（24:55～25:25）」30秒告知
- ②1月14日（金）「金曜ランチ（10:25～11:20）」30秒告知
- ③1月14日（金）「Witch（22:54～23:00）」120秒告知
- ④1月16日（日）「サンデーDokiっと！（6:15～6:30）」30秒告知
⇒津波で番組休止。1月19日「金曜ランチ」で30秒放送
- ⑤1月18日（木）「今日ドキッ！（15:49～19:00）」30秒告知
- ⑥1月20日（木）「いま、なにしてる？（24:55～25:25）」30秒告知



2月19日（土）11:54-11:59
「札幌ふるさと再発見」



調整中

北海道新聞に掲載



北海道経済産業局などが、冬の新しい都市型観光「アーバンスノースポーツツーリズム」の振興に力を入れている。札幌の積雪の多さを生かし、スキーやスノーボード以外の雪を使ったスポーツの普及を図る。観光客だけでなく、市民の健康増進にも役立てる考えだ。経産局や札幌市、札幌商工会議所などつ

アーバンスノースポーツ研究会主催の体験会で雪上を走る「輪車を楽しむ子ども（同会提供）」

札幌観光 雪遊び楽しんで

市など「アーバンスノースポーツツーリズム」に力

くる「アーバンスノースポーツ研究会」が実施主体となる。同会によると、札幌では訪日外国人客（インバウンド）の滞在日数が短く、市民が雪スポーツをしなくなってきたと、既存のウインタースポーツに次ぐコンテンツづくりが必要という。

このため、同会は1～2月、札幌国際とサッポロテイネの西スキー場、大倉山ジャンプ競技場で子供向けの無料体験会を開く。主に家族連れに狙いを定め、雪上を走る「輪車」やそりなどを用意。雪と触れ合う新しい遊びを実際に楽しんでもらう。本年度のスポーツ庁の事業に採択されており、効果や課題の分析・検証も行う。

同会は「アーバンスノースポーツツーリズム」を札幌観光の柱の一つに育て、市民にも親しんでもらう考え。

担当者は「コンテンツをつくって文化を広め、経済を動かしたい」と話す。体験会の詳細は<https://urbansnowsports.com/park.html>。

（田中雅久）

実証実験の様子



実証実験 受付・貸出テント

実証実験の様子



スノーランニングバイク



スノースラックライン



ミニスキー



かんたんスノーボード



米そり

実証実験の様子



実証実験の様子



実証実験の様子



実証実験の様子



実証実験の様子



実証実験の様子



実証実験の様子



実証実験の様子



実証実験の様子



実証実験結果

【アンケートの実施概要】

- 実証実験体験終了後にアンケートを取得
- 受付ブースにて紙ベースで回収
- 調査票は独自に作成
- 日本語、英語、中国語（繁体字・簡体字）の4種類を用意

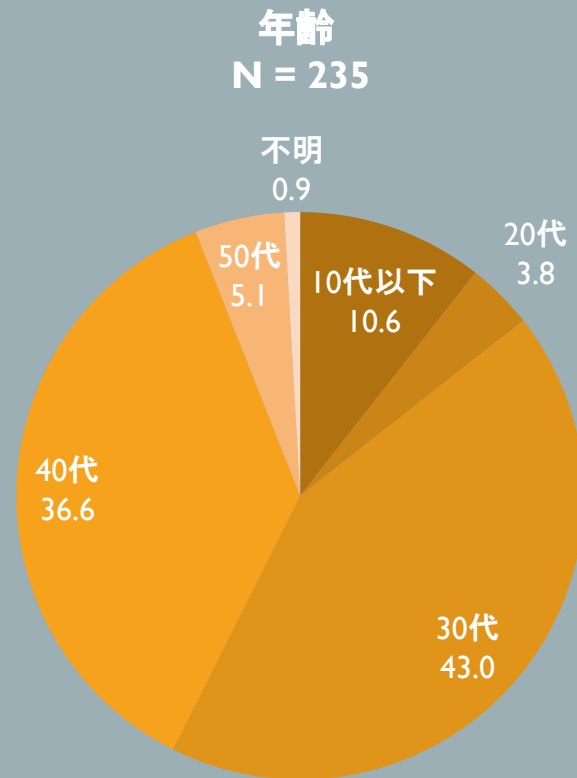
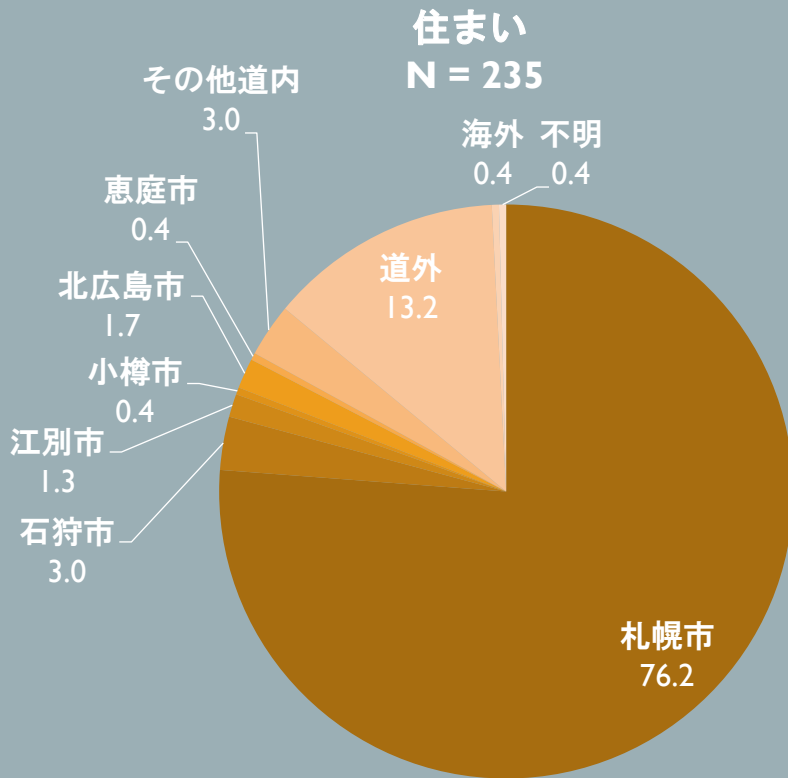
【回収状況】

N = 235件

札幌国際スキー場	100件
サッポロテイネスキー場	79件
滝野スノーワールド	56件

※大倉山は新型コロナウイルス感染拡大により大会参加者のみ利用可とし、
蜜を防ぐため積極的な誘導は避けた。また、別途、ストライダー大会のツアーコンテンツとしての
検証アンケートを実施しており、回答者の負担軽減の観点から体験コンテンツのアンケートは取得しなかった。

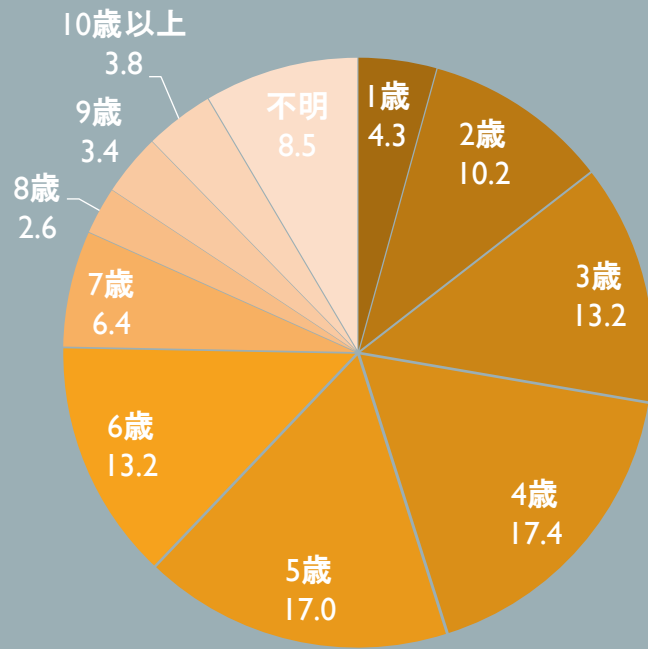
実証実験結果



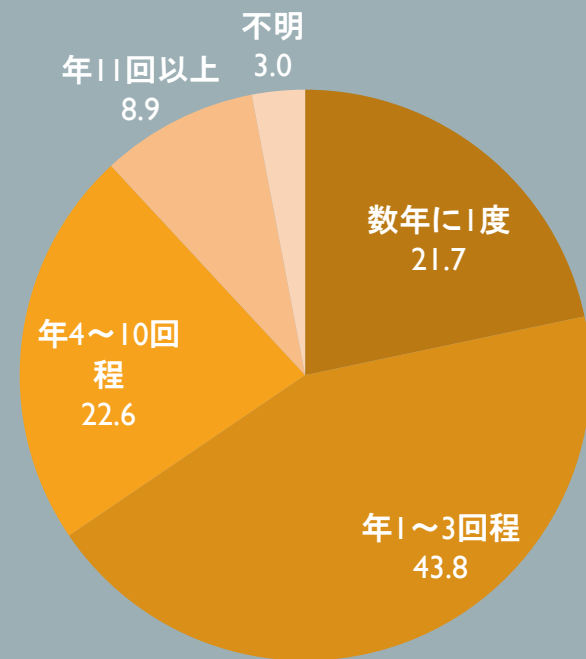
平均滞在時間 2時間05分

実証実験結果

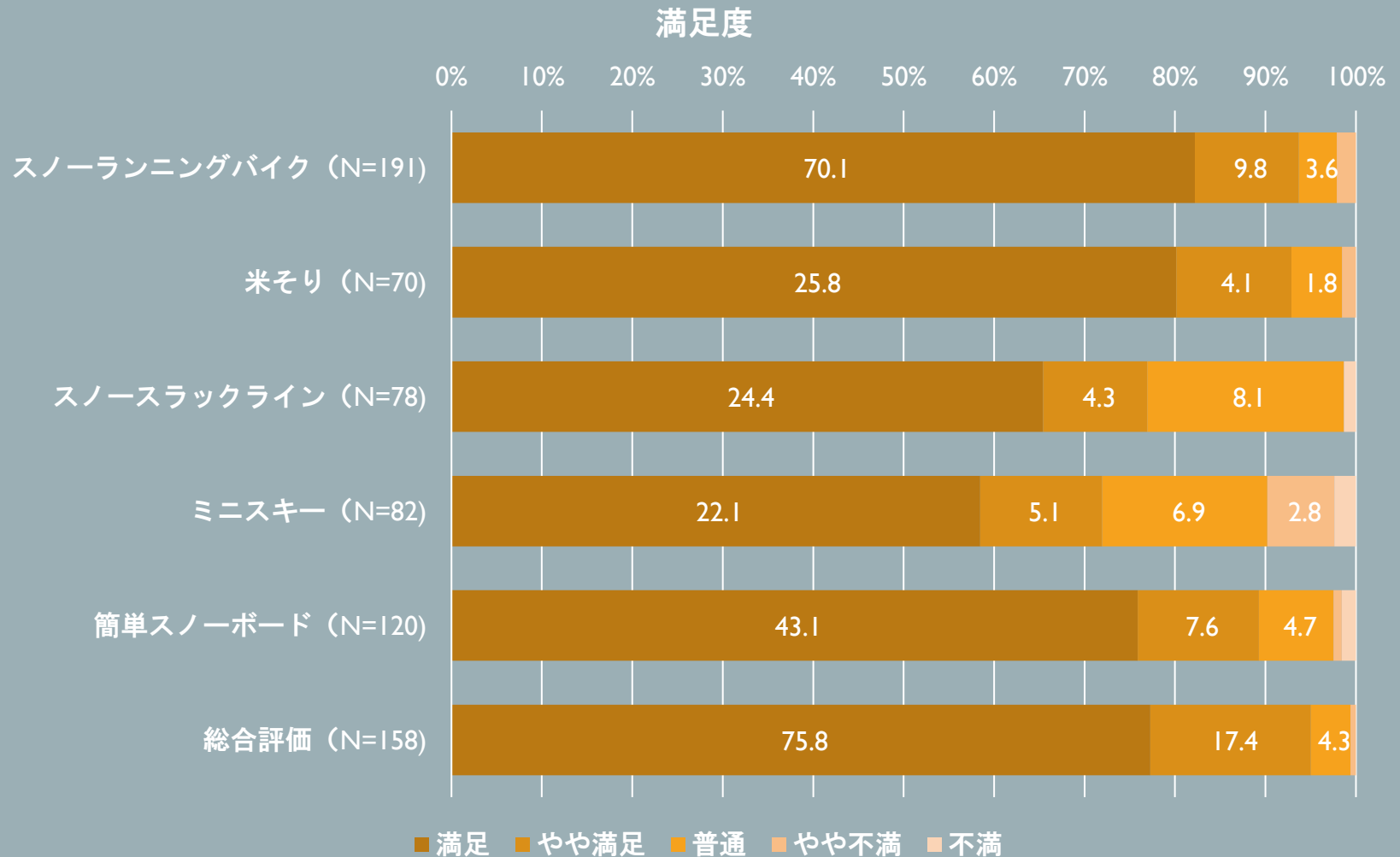
子供年齢
N = 235



来訪頻度
N = 235

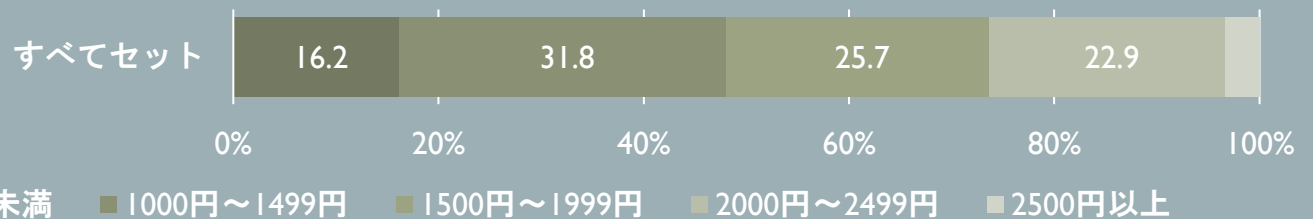
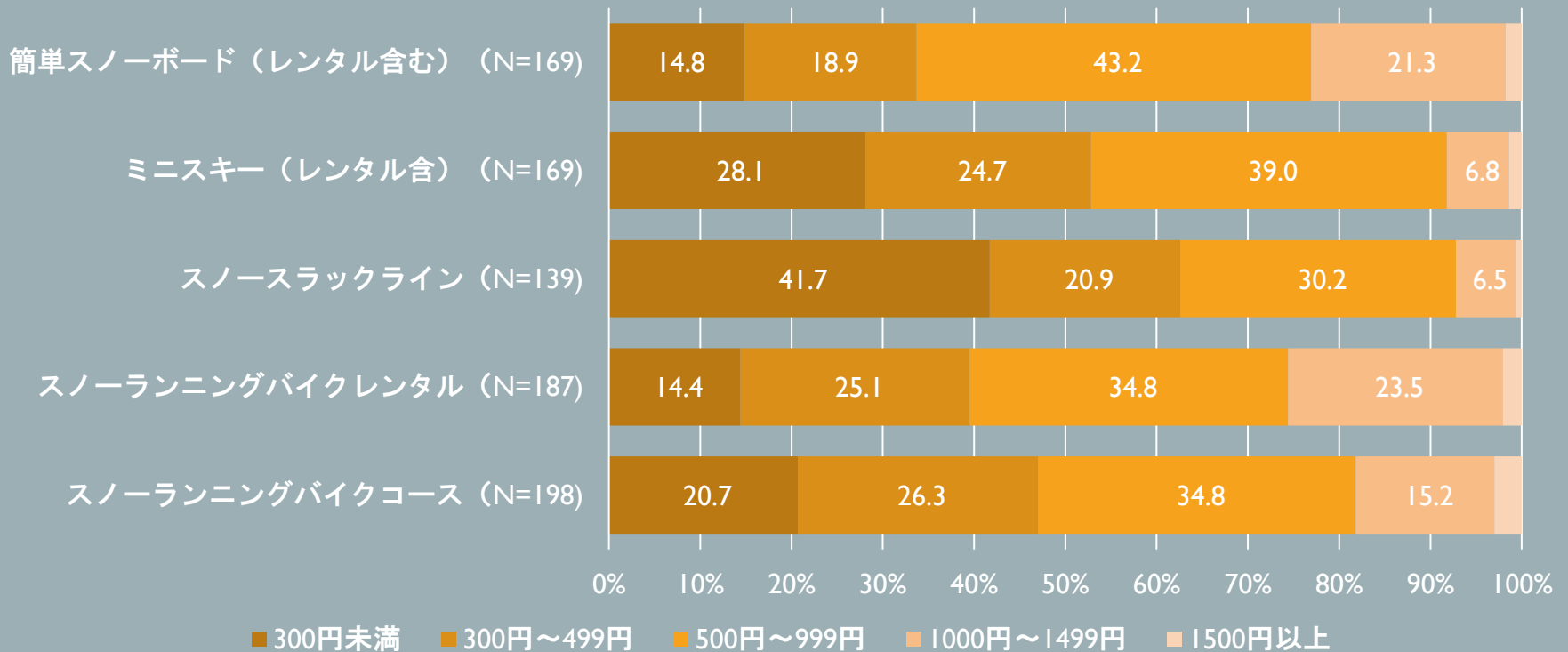


実証実験結果



実証実験結果

支払い意識



実証実験結果

支払意識（平均金額）

	全体	道内	道外	道外/道内
スノーランニングバイク （コース利用）	640	628	734	1.2
スノーランニングバイク （レンタル）	714	698	831	1.2
スノースラックライン	466	454	575	1.3
ミニスキー（レンタル含 む）	543	532	634	1.2
かんたんスノーボード （レンタル含む）	719	701	885	1.3
全てセット	1,536	1,525	1,650	1.1

実証実験結果

コメント（一部抜粋）

楽しんで乗っていました。スキー以外も体験できてよかったです。

家族みんなでもって楽しかったです。スタッフさんもとても優しくして頂き、大満足です。

コースやコース上に適度な山があればコース利用料金を取っても良いと思います

今回みたいなイベントがあると来るきっかけになってうれしいです

スキーやスノボができない年齢の雪遊びに悩んでいたのがこのようなレンタルがあるとうれしい。

とても楽しそうでした。小さな子供はスキーもすぐあきてしまうので、このようなサービスがあると助かります。

利用料金によっては利用したいです

ボードがとても楽しいです。また来年も開催してください。絶対参加します

ストライダー大会アンケート結果

【会場】

- 大倉山ジャンプ競技場

【アンケートの実施概要】

- ストライダー大会参加者にアンケートを実施
- 調査票は独自に作成

【実施日】

- 2022年2月6日（日）

【回収状況】

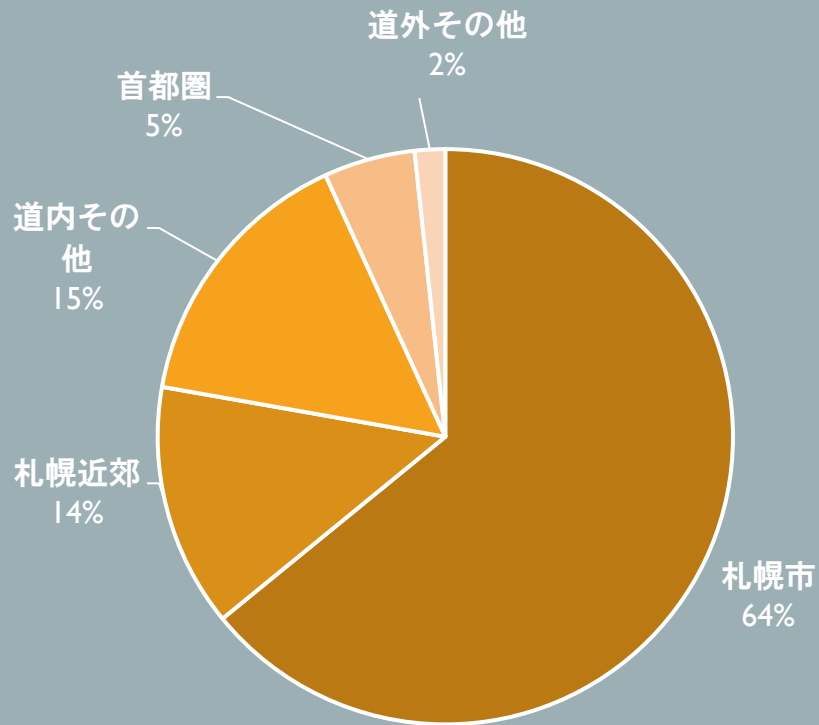
N = 43件
大会申込 117名
大会参加者 84名

※2022年2月6日の記録的な豪雪により、当日会場にたどり着けない欠席者が発生。

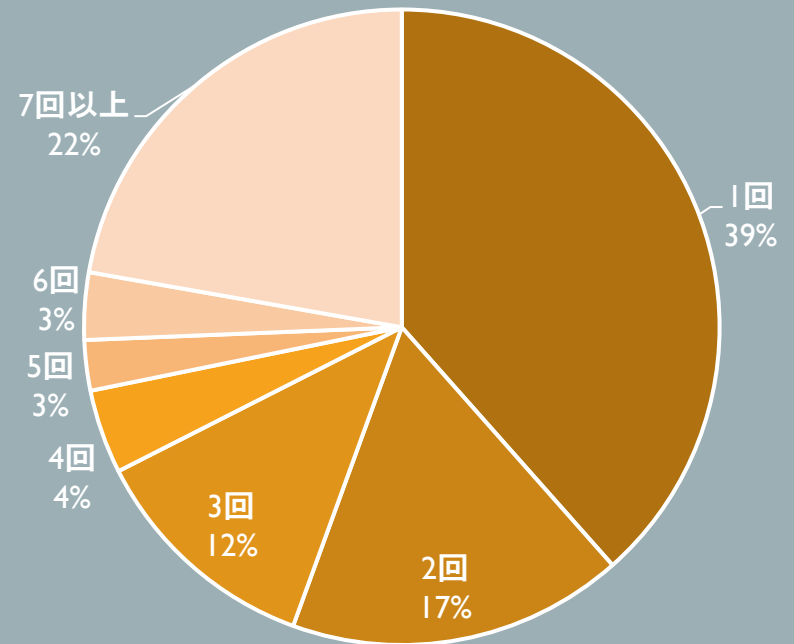


大会実証結果

ストライダー大会申込者 (N=117)

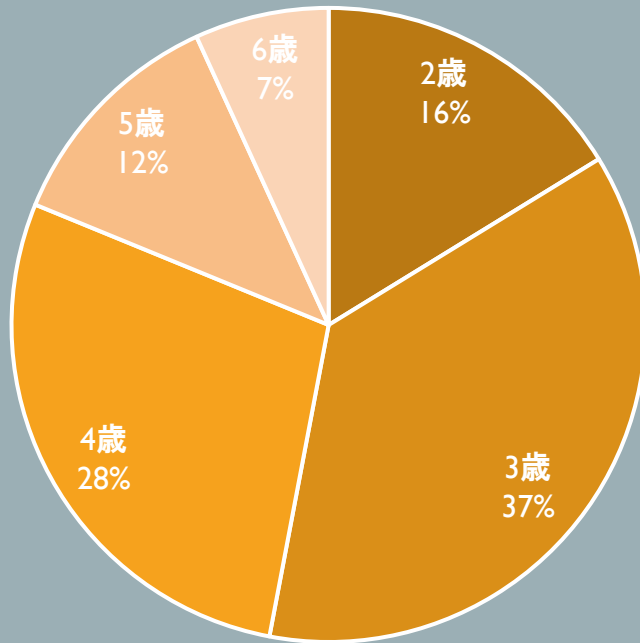


大会申込回数(N=117)

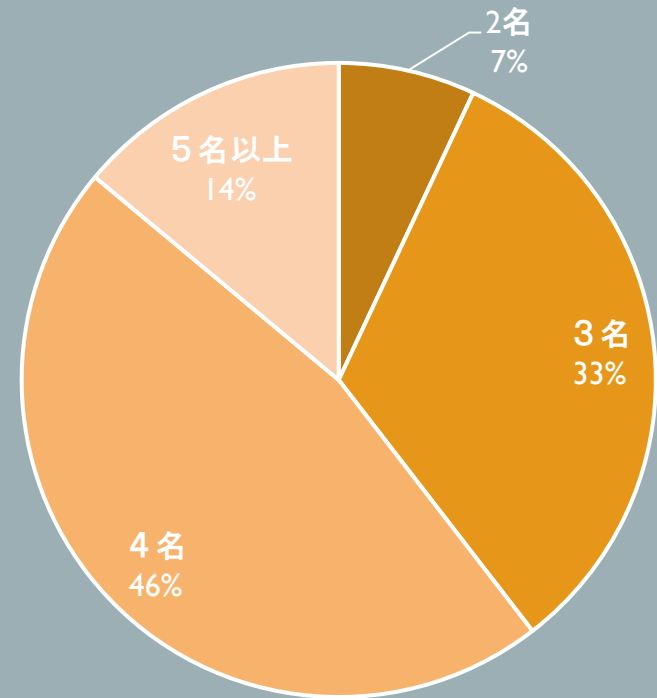


大会実証結果

大会申込者年齢 (N=117)

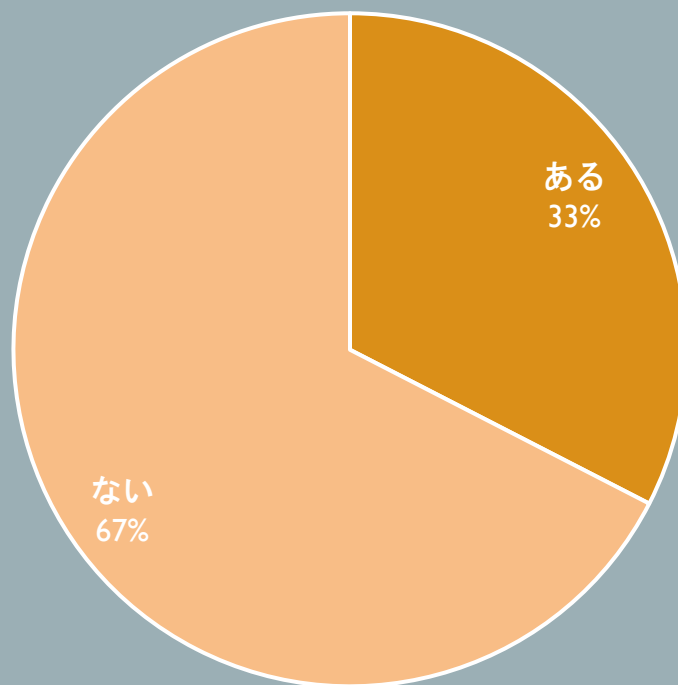


同伴者数 (本人含む) (N=43)



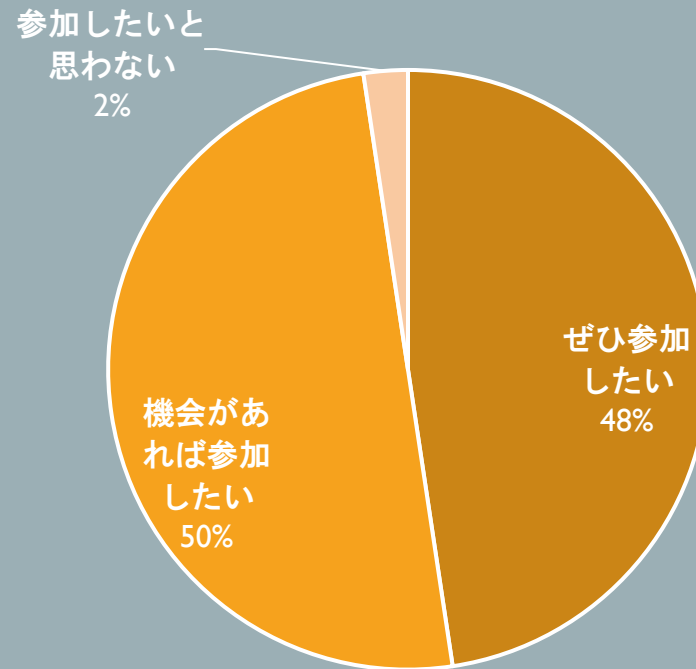
大会実証結果

宿泊を伴う大会参加経験(N=43)



大会実証結果

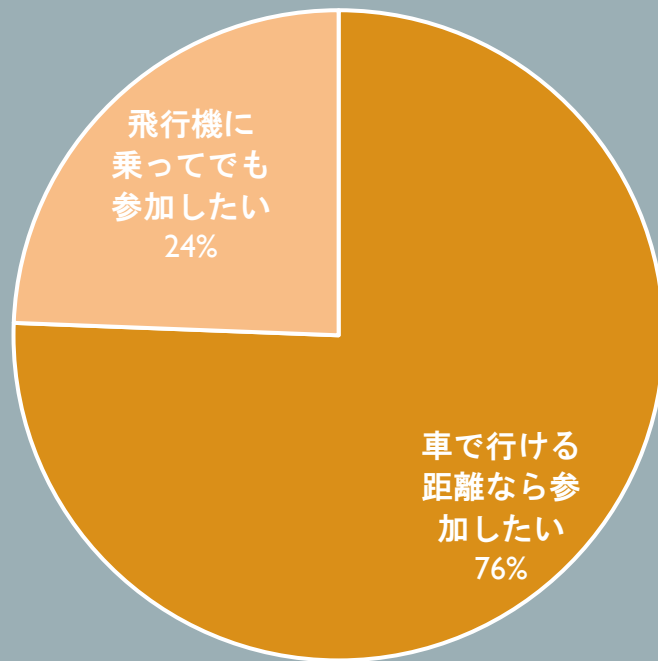
日本初の世界大会が開催された場合の
参加意向 (N=42)



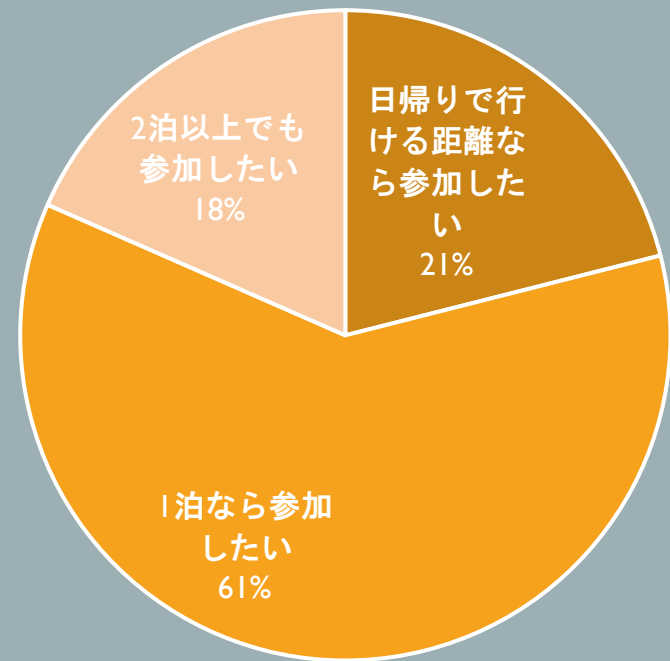
大会実証結果

日本初の世界大会が開催された場合 . . .

参加意向_開催地までの距離 (N=41)

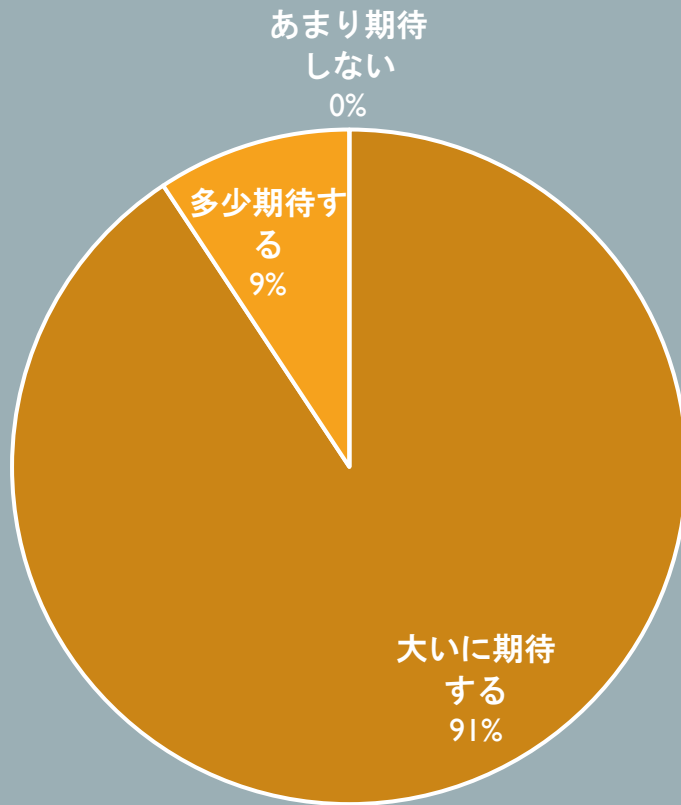


参加意向_宿泊・日帰り (N=42)

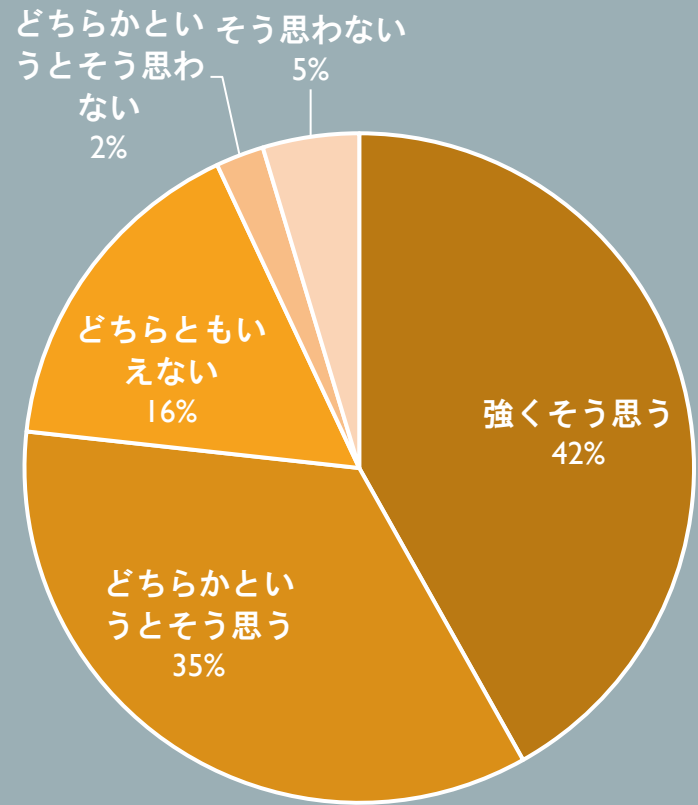


大会実証結果

札幌での世界大会の期待度 (N=43)



コロナ禍でも、感染対策の徹底や旅行先（感染の少ない地域やアウトドアなど）、タイミングを吟味したうえで旅行に行きたいと思うか。(N=43)



米そり大会アンケート結果

【会場】

- 滝野スノーワールド

【実施日】

- 2022年2月11日（木・祝）

【アンケートの実施概要】

- 米そり大会参加者にアンケートを実施
- 調査票は独自に作成

【回収状況】

N=32件

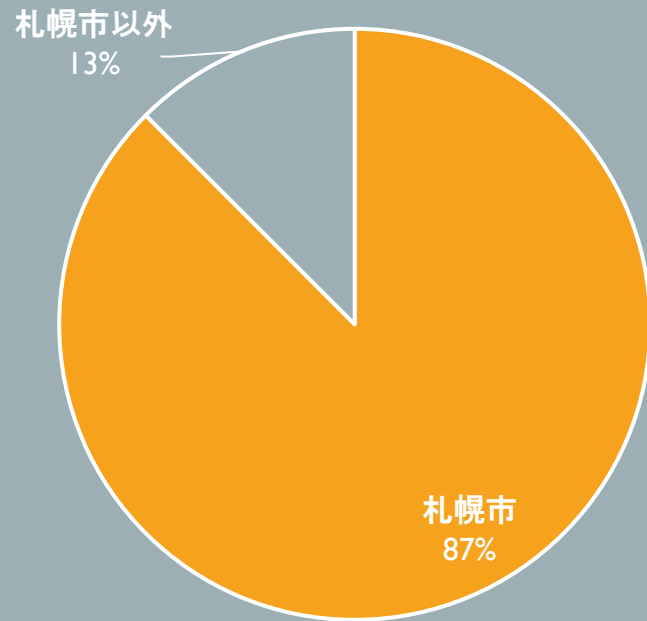
大会参加者 200名



大会実証結果

お住まい

前後で寄る・または寄る予定の場所



- ・ 真駒内滝野霊園(2)
- ・ 北広島三井アウトレットパーク (3)
- ・ 北広島コストコ
- ・ 札幌芸術の森 (2)
- ・ スーパー銭湯・温泉
- ・ 飲食店 (ジェラード)